

1 必修専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK001	スポーツ・ヘルスプロモーション論概論	1	2.0	1・2	春AB	水7,8	2F講義室7	菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	スポーツとヘルスの相関的・相乗的な関係の基本理念とその哲学について、人間存在の生理的・心理的・社会的特質との関係から概説する。また、現代社会における長寿化人生、ハイテク・情報化生活等の生活変容に注目しながら、人間存在の現代的課題を取り上げ、そこにおけるスポーツ文化享受による健康開発の可能性を環境世界、社会・文化生活、諸個人のライフスタイルやライフステージとの関係から概説し、エコロジーと共生を希求する21世紀世界におけるスポーツ・ヘルスプロモーションの相乗的な効果を上げるための政策課題について講義する。	
01EK002	スポーツ・ヘルスプロモーション方法論	1	1.0	1・2	春C	水7,8	2F講義室7	高橋 義雄, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 渡部 厚一	スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて、研究デザインと科学的方法の客観性を担保する方法基礎論を理解し、文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また、社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに、調査や実験データの分析法・検定法などの統計手法について、分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり、実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。	
01EK003	スポーツ健康研究方法論I	2	1.0	2	春ABC秋A	随時		菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究について担当教員の指導のもとに先行文献を参照しながら研究計画を立案し、研究テーマを設定し、研究テーマ届を提出する。	

2 選択専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK004	スポーツ健康研究方法論II	2	1.0	2	秋A	随時		菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。	
01EK005	スポーツ健康研究方法論III	2	1.0	2	春A	随時		菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。	9月末修了予定で、「01EK004」を未修得の者用

2-2-1 選択専門科目(ヘルスプロモーション領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK401	ヘルスプロモーション論特講	1	2.0	1・2	春AB	火7,8	2F講義室7	久野 譜也	我が国及び諸外国における運動を中心としたヘルスプロモーションのための政策課題について概説し、その目的、内容、方法等の特徴を明らかにするとともに、我が国における今後のヘルスプロモーションの政策課題の方向性について講義する。	
01EK412	ヘルスプロモーション論演習1	2	1.0	1・2	春ABC	随時		久野 譜也	春学期に集中で開講し、ヘルスプロモーションのためのスポーツ実践の条件と要因を導き出すとともに、学生の実践的課題に対応しながら、スポーツによるヘルスプロモーションのためのシステム編成とそのマネジメント、資源整備及びプログラム開発等の具体的な方法について演習する。	
01EK413	ヘルスプロモーション論演習2	2	2.0	1・2	秋BC	火7,8	4F435ゼミ室	久野 譜也	秋学期に開講し、ヘルスプロモーションのためのスポーツ実践の条件と要因を導き出すとともに、学生の実践的課題に対応しながら、スポーツによるヘルスプロモーションのためのシステム編成とそのマネジメント、資源整備及びプログラム開発等の具体的な方法について演習する。また、感染症、心身疾患あるいはドーピング等のスポーツにおける健康阻害状況に関する具体的事例も取り上げ、その発症のメカニズムを分析し、その原因と対策について検討する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK405	ヘルスプロモーション論実習	3	1.0	1・2	通年	随時		久野 譜也	ヘルスプロモーションに関する学生の現職経験を重視し、そこから導かれる実践的な課題を取り上げ、それを体系的課題に洗練するとともに、現職やそれと関わるフィールドワークを通じて、課題解決に志向したシステムモデルのデザインを実習する。	
01EK406	健康開発プログラム論特講	1	2.0	1・2	秋AB	水7,8	2F講義室7	柴田 愛	健康行動を推進させるプログラム開発に活用されている行動科学の理論やモデルの基礎的な考え方について理解を深めるとともに、それを応用した様々な実践例について学ぶ。	
01EK414	健康開発プログラム論演習1	2	1.0	1・2	秋ABC	随時		柴田 愛	秋学期に開講し、効果的な健康開発プログラムに関する近年の具体的な事例を取り上げ、情報検索、論文読解、統計解析、プレゼンテーションスキルについて学習する。	
01EK415	健康開発プログラム論演習2	2	2.0	1・2	春AB	金7,8	4F435ゼミ室	柴田 愛	春学期に開講し、我が国及び諸外国において実践されている健康開発プログラムの中から自らが興味のある特定のテーマを決めて、その有効性と課題について文献的に検討・発表する(ディレクティブリーディング)。これらの分析をもとに、学生それぞれの実践的な課題について演習する。	
01EK410	健康開発プログラム論実習	3	1.0	1・2	通年	随時		柴田 愛	学生の現職経験から導かれる健康開発プログラムの課題を取り上げ、現職域及び関連組織・機関等をフィールドにして、課題解決に向けた情報収集、健康開発プログラムの計画と実践、評価について実習する。	
01EK416	ヘルスプロモーション研究方法論IV	2	2.0	2	秋ABC	随時		久野 譜也, 柴田 愛	ヘルスプロモーションに関する学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、その課題をシステムの視点から整理することにより専門研究にむけた課題に洗練する。この専門研究課題を現職及び関連組織等の状況にフィードバックしながら実践的問題解決のための研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験を生かしたシュミレーションを行い、具体的な解決計画のモデル提案を目指した修士論文・特定課題研究報告の作成を指導する。	
01EK417	ヘルスプロモーション研究方法論V	2	2.0	2	春ABC	随時		久野 譜也, 柴田 愛	ヘルスプロモーションに関する学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、その課題をシステムの視点から整理することにより専門研究にむけた課題に洗練する。この専門研究課題を現職及び関連組織等の状況にフィードバックしながら実践的問題解決のための研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験を生かしたシュミレーションを行い、具体的な解決計画のモデル提案を目指した修士論文・特定課題研究報告の作成を指導する。	9月末修了予定者用

2-2-2 選択専門科目(ストレスマネジメント領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK501	ストレスマネジメントシステム論特講	1	2.0	1・2	春C 春BC	木7,8 集中	2F講義室7	水上 勝義	ストレスの概念を理解し、ストレスがもたらす生体反応やストレスに関連した健康問題について学習する。さらに健康促進のための個人と社会におけるストレスマネジメントシステムについて学習する。	6/1, 6/29
01EK512	ストレスマネジメントシステム論演習1	2	1.0	1・2	春ABC	随時		水上 勝義	春学期に集中で開講し、学生の興味をもつストレスマネジメントシステム開発に関するテーマで、順に発表し、討議しあうことで学習を深める。職場、学校、家庭、地域などのストレスマネジメントシステムについて、その有効性や課題について、具体的な事例を取り上げ分権的な考察を行いながら検討する。この分析をもとに、学生の現職経験から得られる実践的課題を整理し、その課題解決に向けたストレスマネジメントシステムの効果的なモデルの作成について演習する。	
01EK513	ストレスマネジメントシステム論演習2	2	2.0	1・2	秋AB	木7,8	2F演習室9	水上 勝義	秋学期に開講し、学生の興味をもつストレスマネジメントシステム開発に関するテーマで、順に発表し、討議しあうことで学習を深める。職場、学校、家庭、地域などのストレスマネジメントシステムについて、その有効性や課題について、講師陣を前にして各自の研究計画を発表する。講師陣とのインタラクティブなやり取りを通して、課題解決に向けたストレスマネジメントシステムの効果的なモデルの作成について演習する。	
01EK505	ストレスマネジメントシステム論実習	3	1.0	1・2	通年	随時		水上 勝義	学生の現職経験から導かれるストレスマネジメントの具体的な課題を取り上げ、現職やそれに関連したフィールドワークを通じて、課題解決に向けた情報収集を行い、また課題解決を志向したシステム開発について実習する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK506	ヘルスカウンセリングシステム論特講	1	2.0	1・2	秋A 秋AB	火7,8 集中	1F116 講義室	蓮井 貴子, 樋口 倫子	身体や精神, 行動などに症状としてあらわれる健康問題をどう捉えるかについて, ヘルスカウンセリング学や健康行動科学, ストレス科学の視点から概説する。そして, 様々な症状や多様化するライフステージに対応するヘルスカウンセリング論を講義し, 健康課題に応じた健康行動の準備, 実行, 継続の動機付け要因や動機付け強化要因の改善を目的としたヘルスカウンセリング理論と技能を概説するとともに, それを育成するシステムをどのように開発するかについて講義する。	11/2, 11/23
01EK514	ヘルスカウンセリングシステム論演習1	2	1.0	1・2					自己カウンセリング法, ピアカウンセリング法, 組織カウンセリング法, ソーシャルスキルトレーニング法, イメージ療法を用いた健康課題別のヘルスカウンセリング実践事例や, ヘルスカウンセリングシステム開発の具体的な事例を取り上げ, それらを比較検討しながら演習を行う。これに基づき, 学生の現職経験に基づく実践的課題を整理し, それぞれの課題に対応するヘルスカウンセリングのシステムの開発について演習する。	2019年度開講せず。
01EK515	ヘルスカウンセリングシステム論演習2	2	2.0	1・2					自己カウンセリング法, ピアカウンセリング法, 組織カウンセリング法, ソーシャルスキルトレーニング法, イメージ療法を用いた健康課題別のヘルスカウンセリング実践事例や, ヘルスカウンセリングシステム開発の具体的な事例を取り上げ, それらを比較検討しながら演習を行う。これに基づき, 学生の現職経験に基づく実践的課題を整理し, それぞれの課題に対応するヘルスカウンセリングのシステムの開発について演習する。	2019年度開講せず。
01EK510	ヘルスカウンセリングシステム論実習	3	1.0	1・2					ヘルスカウンセリング理論, 健康行動科学やストレス科学の理論及びカウンセリングの基本姿勢や技能に関して, 行動目標化, 行動変容化, 自己変容化, システム変容化の各レベルの習熟化を進めると同時に, 学生の現職経験から得られる実践的な課題を取り上げ, そこにおける課題を明らかにすると共に, 地域, 職場, 家庭等で現在展開しているヘルスカウンセリングシステムの現場に赴き, その解決に向けたフィールドワークの実習を行う。	2019年度開講せず。
01EK516	ストレスマネジメントシステム研究方法論IV	2	2.0	2	秋ABC	随時		水上 勝義	ストレスマネジメントシステムに関する学生の実践的研究課題に対応しながら, 実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。その研究計画に基づいて, フィールドでの介入計画を実施し, そのプログラムの可能性と限界を行動科学的に明らかにする修士論文・特定課題研究報告書の作成を指導する。	
01EK517	ストレスマネジメントシステム研究方法論V	2	2.0	2	春ABC	随時		水上 勝義	ストレスマネジメントシステムに関する学生の実践的研究課題に対応しながら, 実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。その研究計画に基づいて, フィールドでの介入計画を実施し, そのプログラムの可能性と限界を行動科学的に明らかにする修士論文・特定課題研究報告書の作成を指導する。	9月末修了予定者用

3-2 関連専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK607	スポーツ健康統計学特講	1	1.0	1・2	春B	集中	1F122 講義室	大藏 倫博	統計学の初心者理解を促進するために, ヒストグラム, 正規分布, 平均値, 標準偏差, 相関分析などスポーツ健康統計学の基礎について, 演習・実習形式の授業を取り入れつつ具体的に学ぶ。	6/15, 6/30
01EK621	生活機能増進法論特講	1	1.0	1・2	秋C	水7,8	2F講義室7	向井 直樹, 白木 仁, 竹村 雅裕, 福田 崇	生活機能病(運動器の障害)に焦点を当て, 生涯にわたって生活機能の向上(寝たきりの予防)法の開発やその指導法に関して学習する。臨床スポーツ医学的アプローチを含む。	
01EK622	健康増進基礎論特講	1	1.0	1・2	春C	金7,8	2F講義室7	大森 肇, 前田 清司, 足立 和隆, 國部 雅大	心身の健康を維持・増進するためには運動, 栄養, 栄養などの知識, 研究が必要である。本授業では運動が心身に与える影響を運動解剖学的, スポーツ生理学, 生化学, 筋生理学, 心理学の観点からそれぞれの専門家が概説し健康増進の科学的理解と研究に資することを目的とする。	
01EK623	健康社会論	1	1.0	1・2	春C	集中	2F講義室7	武田 文, 門間 貴史	乳幼児期~高齢期までの各ライフステージにおける健康問題を, 家庭・地域・職場など生活領域別にとりあげ, 各問題と社会環境要因との関わりを論じる。そして問題解決に必要な社会的支援策のあり方について, 公衆衛生の観点から解説する。	7/6, 7/13

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK624	健康支援の理論と実践	1	1.0	1・2	春B	木7,8	2F講義室7	大森 肇, 大藏 倫博, 坂入 洋右, 木塚 朝博, 麻見 直美	集団や個人を対象として、各種の疾患や健康段階、ライフステージにおける課題解決に向けたさまざまな健康支援方法の理論と実践について概説するとともに、その具体的事例について講義する。	
01EK625	ヒューマン・ケア科学概論	1	1.0	1・2	秋B	金7,8	2F講義室7	近藤 正英, 柳 久水子, 森田 展彰, 野智美, 岡本 紀子	実学としてのヒューマン・ケア科学について、その理論とアプローチの効果を概説する。また、子どもから高齢者の健康生活上の問題や虐待、生活リズムの変調、うつや自殺に関連する事項をとりあげ、人々の心身の安寧を脅かす現象を概説する。さらに障害福祉について諸外国の現状を比較すると共に、保健医療政策への応用としての経済学や今日的な課題についての生命倫理を講義する。	
01EK608	スポーツ健康科学論II	1	1.0	1・2	春秋ABC	集中				開講未定
01EK609	スポーツ健康科学論IV	1	1.0	1・2	春秋ABC	集中				開講未定
01EK611	スポーツ健康統計基礎論	1	1.0	1・2	春秋ABC	集中			スポーツ・ヘルスプロモーションに関する情報収集法及び統計的分析法について講義する。	開講未定
01EK612	スポーツ健康科学論VI	1	1.0	1・2	春秋ABC	集中				開講未定
01EK614	スポーツ健康科学論VIII	1	0.5	1・2	春秋ABC	集中			質的研究の基本的理解として、発展の背景・経緯等を学習する。今回は質的研究の中でグラウンデッド・セオリーを取り上げ、受講者の課題等をもとにビギナーレベルのデータ収集および分析法について学習する。	開講未定